

おかあさん ありがとう

お母さんにいつも笑顔でいてほしいから

検診とワクチンで 子宮頸がんを予防しましょう

かわいい子どもたちとずっと楽しく暮らしたい。そんなお母さんたち世代に知ってほしいのが、20代、30代で増えている子宮頸がん。HPV（ヒトパピローマウイルス）というごくありふれたウイルスによっておこる病気で、女性ならだれでもかかる可能性があるのです。

安心のために、検診を受けましょう

子宮頸がんは、検診でがんになる前の段階（前がん病変）を見つけることができます。検診で見つかる前がん病変や上皮内がん（最も初期のがん）なら、子宮頸部の一部を取る手術で治り、その後の妊娠・出産も可能です。一般的な検診の方法は、子宮頸部の表面の細胞を軽くこすり取る「細胞診」。痛みはほとんどありません。HPV感染の有無を調べる「HPV検査」と併用すれば、精度も高まり、より安心です。

*子宮頸がん検診は、自治体が安価または無料で実施しています。
お住まいの市区町村に問い合わせてみましょう。また、自費で産婦人科で受けられます。

子宮頸がん予防ワクチンも 産婦人科・小児科などで接種できます

検診に加えて、ぜひ受けてほしいのがワクチン接種です。世界では100以上の国々で使用され、検診＋ワクチン接種が、子宮頸がん予防のスタンダードとなっています。

子宮頸がん講座 検索

ウェブサイト <http://www.cczero.pro.jp/kenshin/index.html>

携帯サイト <http://www.cczero.pro.jp/m/>

